

## 本部門賞

# 夏休みの本貸し出し箱

ひなた たか子さん  
向陽 たか子さん

小学校の頃、夏休みに入ると各集落の上級生の家に小学校の図書室から30冊くらいが入る木箱に本が入れられて置かれました。子供たちはその上級生の家に行って本を借りました。当時は、まだ家で本を買ってもらう余裕はなく、図書室から借りた本に目を輝かせ読んだことを思い出します。私はその頃から本が大好きになり、シンデレラ、桃太郎、怪人二十面相など沢山の本を読みました。楽しいこと、悲しいこと、ワクワクすることなど本を広げる度に色々な世界が目の前に現れました。外国への憧れも長くつ下のピッピやドリトル先生の旅行記から芽生えたと思います。貧しくも豊かな心の主人公達の生き方をその活躍から学び、自分もこんな困難にあっても乗り越えるんだと覚悟したのも本の影響が大きかったと思います。地球上の知らない場所に飛んでいけたり、経験したことのない事などさまざまな考える機会を与えてくれる本。私の暮らしの中になくてはならない存在です。